

# 『建設物価 建築費指数<sup>®</sup>』

## 2024年2月分の指数データを公表

一般財団法人建設物価調査会（本部：東京都中央区、理事長：北橋建治）では、同会ホームページにて毎月公表している『建設物価 建築費指数』について、2024年2月分の指数データを2024年3月11日13:00より公表いたします。

建築費指数は、建物を建築する際の工事価格の変動を明らかにすることを目的に作成されており、物価としての建築費の時点間や地域間での比較や、建築費の動向に関する時系列的な観察が可能です。

### ■2024年2月分の指数動向（工事原価指数 東京）■

▶集合住宅(RC造)の指数は、127.9(暫定値)と前月比で0.0%減、前年同月比5.8%増となった。

【前月からの変動要因】プラス寄与：上記以外の設備細目[+0.00]の1細目  
(対純工事費指数) マイナス寄与：上記以外の建築細目[-0.00]の1細目

▶事務所(S造)の指数は、130.0(暫定値)と前月比で0.1%増、前年同月比5.3%増となった。

【前月からの変動要因】プラス寄与：上記以外の設備細目[+0.06]の1細目  
(対純工事費指数) マイナス寄与：上記以外の建築細目[-0.00]の1細目

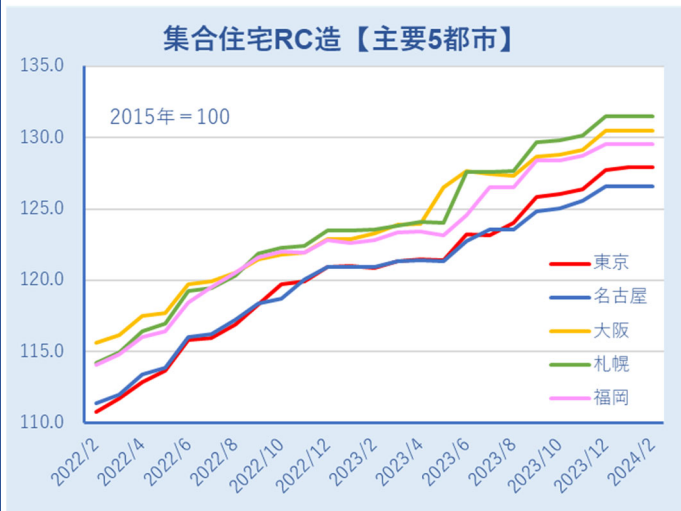
▶工場(S造)の指数は、129.9(暫定値)と前月比で0.0%増、前年同月比5.3%増となった。

【前月からの変動要因】プラス寄与：上記以外の設備細目[+0.03]の1細目  
(対純工事費指数) マイナス寄与：上記以外の建築細目[-0.00]の1細目

▶住宅(W造)の指数は、134.0(暫定値)と前月比で0.0%減、前年同月比2.7%増となった。

【前月からの変動要因】プラス寄与：なし  
(対純工事費指数) マイナス寄与：上記以外の建築細目[-0.00]の1細目

### ■工事原価指数グラフ■



※2024年1～2月の指数は「暫定値(P値)」です。

### ■工事原価指数値■

集合住宅 RC 造【主要5都市】		※2015年=100				
年月	東京	名古屋	大阪	札幌	福岡	
2023年2月	120.9	120.9	123.3	123.5	122.8	
3月	121.3	121.3	123.9	123.8	123.3	
4月	121.5	121.4	123.9	124.1	123.4	
5月	121.4	121.3	126.5	124.0	123.2	
6月	123.2	122.8	127.7	127.6	124.6	
7月	123.1	123.5	127.5	127.6	126.5	
8月	124.0	123.6	127.3	127.7	126.5	
9月	125.9	124.8	128.7	129.6	128.4	
10月	126.1	125.0	128.8	129.8	128.4	
11月	126.4	125.6	129.2	130.2	128.7	
12月	127.7	126.6	130.5	131.5	129.5	
2024年1月	P127.9	P126.6	P130.5	P131.5	P129.5	
2月	P127.9	P126.6	P130.5	P131.5	P129.5	

■指数変動に寄与した主な細目■ 詳細な市況は <https://www.kensetu-bukka.or.jp/> をご覧ください。

プラス寄与

人件費や材料費などの製造コストの上伸やエネルギーコストの増大による運搬費の上伸を背景に、空調設備用機器の一部において、メーカーが打ち出した値上げが市場に浸透したことから、『上記以外の設備細目』がプラスに寄与。

マイナス寄与

元売業者による原油調達コストの下落から、軽油価格が値下がりし、それに伴い軽油を使用する重機による積み込み・運搬作業の工事費が下落し、『上記以外の建築細目』がマイナスに寄与。



### 【本件に関するお問合せ先】

※「建設物価 建築費指数」は建設物価調査会の登録商標です。

一般財団法人建設物価調査会 総合研究所 経済研究課 担当：伊沢・吉本 Tel : 03-3663-7235

東京都中央区日本橋大伝馬町11番8号 フジスタービル日本橋 E-mail : econ@kensetu-bukka.or.jp

詳細な指数はコチラ → [https://www.kensetu-bukka.or.jp/business/so-ken/shisu/shisu\\_kentiku/](https://www.kensetu-bukka.or.jp/business/so-ken/shisu/shisu_kentiku/)